

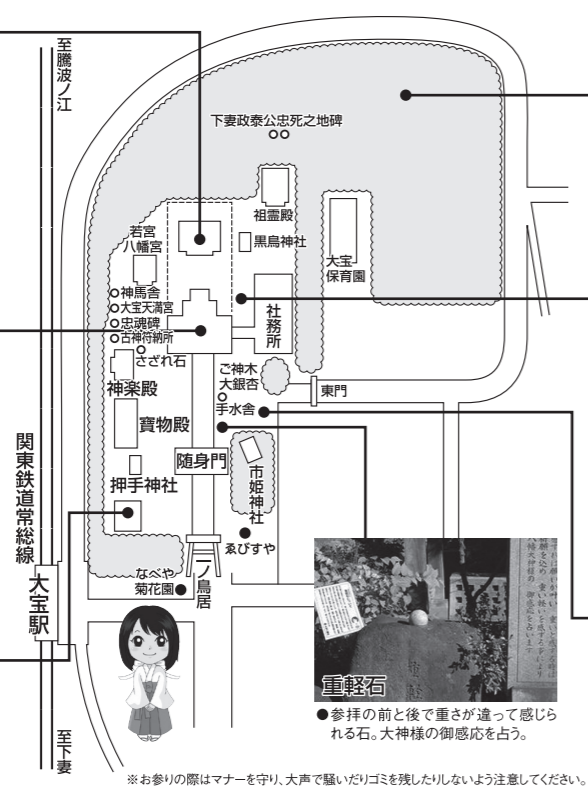
大宝八幡宮本殿
●天正五年(1577)に下妻城主多賀谷尊経公が再建、国指定重要文化財。



大宝八幡宮拝殿
●御祈禱をはじめ祭事を執り行う御殿、奉獻者には勝海舟の名もある。



相撲場
●毎年6月中旬に大相撲高砂部屋と錦戸部屋が合宿稽古を行っている。



あじさい神苑
●見頃は6月下旬から7月上旬、あじさい祭では流鏝馬神事や野点もある。



大王松
●葉は通常3本だが、4本の葉を見つくと幸運がおとずれるという。



鐘楼
●神仏習合の名残で鐘があり自由に撞ける。大晦日には開運の鐘撞も。



重軽石
●参拜の前と後で重さが違って感じられる石。大神様の御感応を占う。

※お参りの際はマナーを守り、大声で騒いだりゴミを残したりしないよう注意してください。

駅からのふるさと紀行 だいぼう 関東鉄道常総線

大宝駅

←しも つま とばのえ→
下妻 騰波ノ江

●次回は1月22日 ※イラストはイメージです。
「内原駅」を掲載予定です。



初詣の人気スポット：大宝八幡宮
ここは、かつて大宝城があったところ。
常総線の開業と同じ大正2年に開業した。平成17年には駅舎が新築され、小さいながらも城の入口のような風格がある。20年には列車交換設備が設置され、併せてバリアフリー対応工事も施されている。
駅の西側は糸練川が流れ、田園地帯が広がる。東側はかつて大宝城があったところ。南北朝時代、ここを舞台に繰り広げられた攻防戦は「関城大宝城の戦い」として、今も語り継がれている。
城跡には現在、大宝八幡宮や小学校などがあり、境内や周囲を散策すると、土塁など往事の面影を見ることが出来る。
大宝駅前の広い土地(駐車場)は、例祭などに訪れる大量の乗客をさばいた名残。大宝八幡宮では年間を通してさまざまな神事や行事が催されており、境内は見どころが多いので、訪ねた際は、じっくりと堪能したい。



●2005年に新築された駅舎は神社を意識した小さな和風建築で駅舎内にはICカード簡易改札機が設置されている。



●相対式2面2線のホーム間は構内踏切で連絡している。



●大宝駅に停車するキハ2200形の車両。

「運ぶ」を支え、環境と未来をひらく

ISUZU

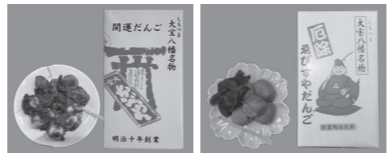
茨城いすゞ自動車株式会社

本社 / 〒310-0063 水戸市五軒町1-2-5 ☎029-225-1215(代)
http://www.ibaraki-isuzu.co.jp

● 散策コース ●

今回の散策は大宝八幡宮の初詣。財運招福の願い、厄除、交通安全、商売繁盛、家内安全、安産など、その神徳は幅広い。本殿は国の重要文化財に指定されている。創建は大宝元年(701年)。「関東最古の八幡さま」と呼ばれている。境内への入口となる一ノ鳥居をくぐると、左側に相撲場が見える。毎年6月中旬には高砂部屋と錦戸部屋が稽古合宿を行っている。手水舎の横には、参拝前と参拝後の重さが違って感じられるという「重軽石」があるので試してみよう。拝殿で新年の祈願を済ませたら、樹齢100年の大銀杏や大王松など、樹木にも注目しながら境内を散策しよう。本殿右奥に

は広大な「あじさい神苑」もある。アジサイが咲き誇る6月下旬から7月上旬にはあじさい祭が開催され、6月最終土曜日は流鏝馬神事で盛り上がる。また、2月3日の節分祭、春の大祭と秋の例大祭、7月の祇園祭、9月の松明祭(タバカ祭)なども多くの人でにぎわう。境内入口には「あびすや」と「なべや菊花園」があり、それぞれ、「厄除けだんご」、「開運だんご」が名物となっている。参拝の際にはぜひ、お試しを…。



なべや菊花園の名物「開運だんご」
ドライブインあびすやの名物「厄除けだんご」
※営業時間は季節や祭事により変更することがあります。